

豊田市より支援品をいただきました

豊田市が募集している「新型コロナウイルス最前線応援寄附金」を活用した医療従事者、等に対する支援について、3月1日当院にて贈呈式が行われ、支援品及び応援メッセージをいただきました。

豊田市長より病院長へ支援品の目録とメッセージが渡され、励ましのお言葉を頂きました。職員一同大変励みになりました。ありがとうございました。



支援品寄贈の様子

他にも地元の中学校の皆さんより応援メッセージやマスク、消毒液等を頂きました。ありがとうございました。

コロナワクチン接種開始しました

国より新型コロナウイルスワクチンが届いたため、職員への接種を始めました。

ワクチン接種により、患者の皆さんに安全な医療を提供できる体制が強化されます。



問診を終えた職員に看護師が接種

看護師・看護補助者 募集

看護師

新卒者採用試験を実施しています。

勤務条件

二交替勤務可能な方、パート、夜間専従
病院併設の保育所あり！

0歳～満3歳までの保育
月～金曜日は夜間保育あり
夜勤明けの保育も可

■看護師採用試験(新卒者)

	開催日	時間
第3回	5月15日(土)	9時00分
第4回	5月29日(土)	11時00分
第5回	6月12日(土)	(受付8:45～)

中途採用も募集中
(随時面談)

看護補助者

看護補助としてあなたの力を患者さんへ役立ててはいかがですか？

勤務条件

土・日出勤、早番・遅番の勤務時間に対応できる方

業務内容

患者さんの搬送補助・清潔援助など

採用について

随時受付いたします。

採用情報/



看護師紹介動画/



お問い合わせ先 看護管理室(受付時間 平日8:30～17:00)までお気軽にお電話ください。

【編集後記】コロナ禍で二度目の春が来ましたね。まだまだコロナとの戦いは続きますが、この一年で皆さまから支援品や温かいエールの言葉をたくさん頂きました。大変励みになり、心が熱くなりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

とよた こうせい
豊田厚生病院
〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原 500-1
TEL(0565)43-5000(代表) FAX(0565)43-5100(代表)
URL: <https://toyota.jaaikosei.or.jp>
E-mail: tk-hosp@toyota.jaaikosei.or.jp



I-000086_企画課_2021/05/11/8,000 ㊞

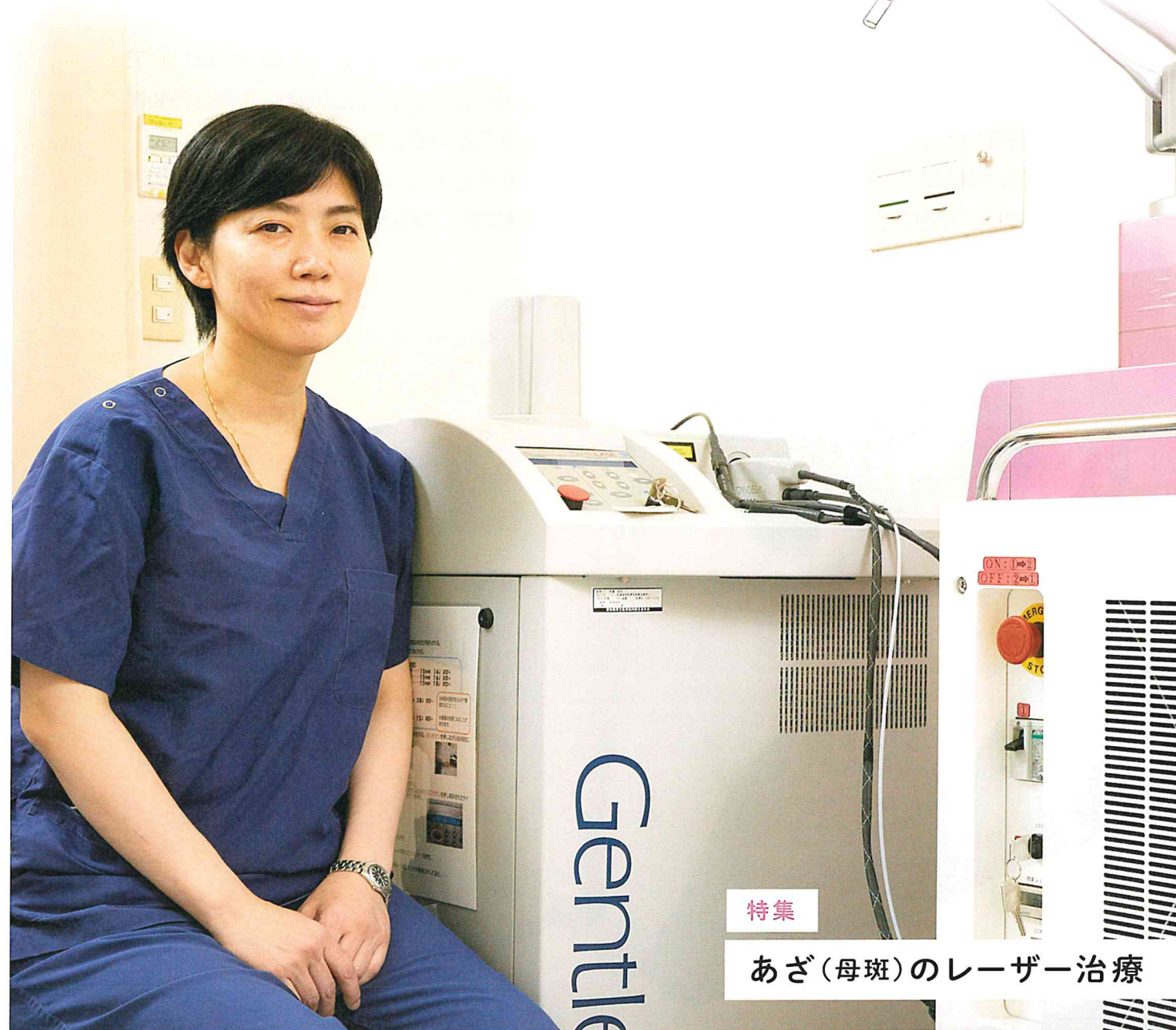


豊田厚生病院

私たちはたえず 新しい医療のあり方を追求し 優しさと温かさを大切にして 地域の人たちと共に歩みます

カモメイト

Vol.91
spring



特集

あざ(母斑)のレーザー治療

診療日カレンダー [Calendario de Atención]

休診 [Feriado] (2021年 5月～8月)

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

あざ(母斑)のレーザー治療

皮膚の細胞の異常で、色が赤や青、茶になったり、隆起したりするのが「あざ(母斑)」です。健康上の問題はほとんどありませんが、中には年齢に伴い拡大し色が濃くなるものもあり、目立つところにある場合は、幼児期に治療を受けることが望めます。

当院では青あざ・茶あざの「レーザー治療」を行ってきましたが、新たなレーザー機器の導入により「赤あざ」の治療も開始しました。今後は全般的な「あざ(母斑)」の「レーザー治療」が提供できます。

形成外科代表部長
川端 明子



みなさまの地域のかかりつけ医をご紹介します

豊田整形外科

診療科目 整形外科、リハビリテーション科、
麻酔科(ペインクリニック内科)

住 所 豊田市今町6丁目24-1

電 話 (0565)71-5050



院長 川本 高基



当院は平成24年開業の整形外科・脊柱外科専門のクリニックです。頸や腰の痛みからスポーツ障害やケガ、年齢を原因とする病氣などに対して、MRIなどの検査で正確な診断、適切な治療を心掛けています。また、理学療法士を中心に積極的なリハビリテーションもおこなっております。患者さま本位の医療を提供できるように、医師・スタッフ一同努力してまいります。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	○	○	○	/	○	○	/	/
15:30~19:00	○	○	○	/	○	△	/	/

△ 14:00~17:00 /:休診

午後の診察受付時間は、18:45まで(土曜は16:45まで)
午前診察時間内で、混雑の状況により初めての患者様の制限をすることがあります。その場合は午後(または後日)の診察を優先的に受けさせていただきます。

あかね医院

診療科目 産婦人科、小児科

住 所 豊田市栄生町4丁目13番地6

電 話 (0565)37-8686



院長 金森 あかね



加茂病院(現・豊田厚生病院)にて研修させていただき、2004年崇化館中学の近くに開業、7児の子育てをしながらこまできました。スタッフに感謝です。フリースタイル分娩による自然分娩と、母乳育児支援に力を入れています。産後ケアや、訪問による支援も行っています。助産師が多く、子ども園、小中学校で、命の大切さについてお話し「命の授業」の活動もしています。小児科では、健診・予防接種のほか、発熱外来もあります。地域貢献に頑張りたいと思います。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
13:00~16:00	★	★	/	★	★	/	/	/
17:00~19:00	/	○	/	/	/	/	/	/

○ 一般診療(予約可) ★ 予約診療(要予約) /:休診

ご予約外で診察のご希望の方は8:30~12:00に受付をお願いいたします。

連携医療 機関紹介

トータルサポート クリニック豊田

診療科目 内科

住 所 豊田市永覚新町3-24-1
IKビルD101

電 話 (0565)47-0847



理事長 小倉 行雄
(トータルサポートクリニック豊田 常勤医師)



当院は、医療法人社団明照会訪問診療グループの9番目のクリニックとして、2018年5月に開院いたしました。訪問診療をメインに、地域の施設、個人宅へ医療サービスを提供しています。

お家に寝たきりで病院や近所のお医者さんに行くことが困難な方や、施設で孤独のさみしさや死への恐怖を感じる方へ、今日も「ぬくたい手」で寄り添います。小児からお年寄りまで、医療で何かお困りのことがあれば、いつでもご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	/	○	/	/	/
13:00~18:00	/	○	/	/	○	/	/	/

来院前のご確認をお勧めします。

/:休診

一里山・今井病院

診療科目 脳神経外科、循環器内科、呼吸器内科、
消化器内科、消化器外科、神経内科、
心血管外科、放射線科、乳腺外科、
整形外科、形成外科、リハビリテーション科、
ペインクリニック外科、臨床検査部門

住 所 刈谷市一里山町中本山88番地

電 話 (0566)26-6700



院長 今井 文博



刈谷市一里山町に開院して15年が経過しました。ここまで地域に根ざした病院として数々の高機能医療機器を取り揃え正確な診断技術を病院診療医と看護師を始め各種医療スタッフと協働し、お互いの専門領域により補完されて総合的な診断能力を高めて良質な医療を目指しております。今日のコロナ禍のちい早く発熱外来、PCR検査を導入して行政と共に地域社会に協力してまいります。また、医療の連携も近隣の施設を含めて推進し、患者さん毎に最適な医療を今後とも進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

診療時間 ■月~金 9:00~19:00 ■土 9:00~12:00
■【予約外受付時間】月~金 8:30~18:40

診療科・医師によって診療時間が異なりますので、詳しい診療時間と担当医師についてはホームページをご覧ください。
<https://www.imai-clinic.com/index.html>

「レーザー治療」Q&A



Q レーザー治療は、痛くないですか？

A 「痛み」への対応はしっかりします。

一定の波長のレーザー光が皮膚に照射されると、ゴムで弾かれたような痛みがはしります。そのためレーザー治療では、塗り薬タイプの麻酔剤を用いています。また、今回当院で導入した「赤あざ(血管腫)」治療用のレーザー機器は、レーザーを照射する直前にマイナス26℃の寒剤を吹きつけることで表皮を保護するので、ほとんど痛みは感じません。

Q 形成外科のレーザー治療は、全て保険適用ですか？

A アンチエイジングのレーザー治療も自由診療で行っています。

当院の形成外科では、保険適用のあざ(母斑)治療以外にも、レーザー治療を行っています。近年ではアンチエイジングに対する意識の高まりから、「シミ・シワ」の治療を自由診療で行っています。形成外科医は、「乳房再建」のような外科の治療にも優れた技術を要しているので、見た目の満足度を高める点でも高い技術を発揮できます。

Q レーザー治療の費用は高額ですか？

A 治療前に費用について確認してください。

あざ治療の場合はあざの面積で費用が異なりますが、およそ20,000円～40,000円の額が、保険適用の場合に保険種別で実際の支払い金額が0～3割となります。自由診療の「シミ・シワ」の治療では、1回あたり20,000円程度が実費となり、回数に応じて加算されます。一般の病気の治療で診療時に費用について聞くことはないと思いますが、レーザー治療については最初に費用を確認することが、納得できる治療を受けるためにも大切です。

Q 美容外科と形成外科、皮膚科では何がちがいますか？

A 「美容」は「自由診療」が中心、「外科」は手術治療を行う診療科です。

「美容」が付く診療科は基本的に「自由診療」の施術を行っている診療科です。また、一般的に「皮膚科」は薬物治療が中心となるのに対して、「形成外科」はレーザー治療も含め手術など外科的な治療が主となります。当院の形成外科は、保険適用のあざのレーザー治療から「シミ・シワ」の自由診療まで幅広く担当しており、必要に応じて皮膚科や小児科とも連携できる総合病院ならではの体制を取っています。

当院の被ばく低減の試みをご紹介します

身体に優しい
検査へ

～放射線量を大幅に低減可能なCT機器を導入しました～

CT検査では、放射線量を多くすればそれだけ撮影画像の画質が向上しますが、その分患者さんの被ばくも増加します。日本では諸外国に比べCT機器の保有台数が多く、検査による放射線被ばくが多いとされているため、特にCT検査の被ばくを可能な限り減ずることが求められています。被ばくを少なくするためには放射線量と撮影画像の画質のバランスを考え、画質の良さを保ちつつ、可能な限り放射線量を少なくすることが重要です。当院では、2016年に「医療被ばく低減施設認定」を取得し、より安心して検査を受けていただいております。

さらには2021年1月より最新のCT機器である「Scenaria View」を導入しました。これは新しい技術により従来の機器よりも最大90%の被ばく線量低減が可能になり、より被ばく量を低減した検査を行えるようになりました。

当院では患者さんの被ばくを可能な限り減ずる努力をしており、今後も新しい技術を取り入れ、より安心な検査を提供していきます。

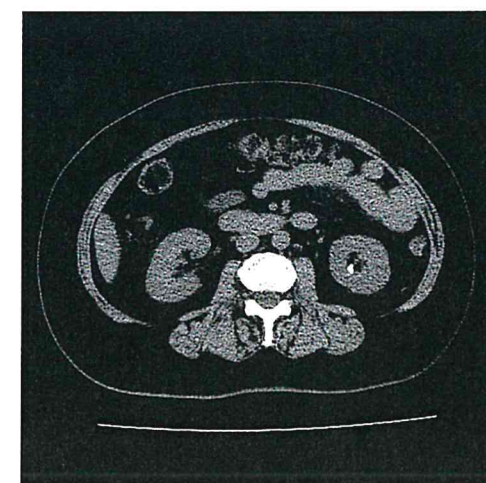


最新のCT機器「Scenaria View」

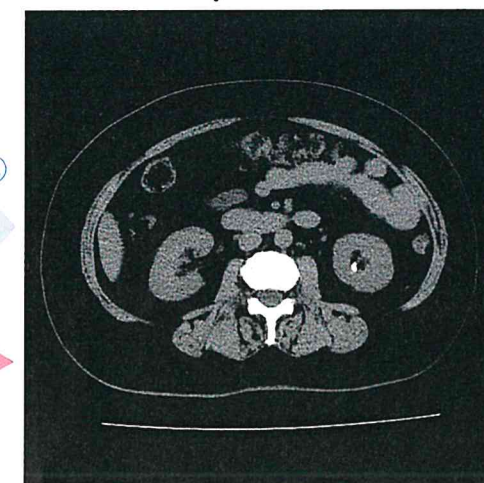
医師と放射線技師が協議し、最新のCT機器を使って放射線量を減らして撮影しています！

尿路結石を診断するためのCT画像(実例)

診断しやすい画質を維持しながら
約75%の放射線量をカット



従来のCT機器で撮影した画像



新しいCT機器で撮影した画像

放射線量(減)
画質維持

令和2年5月開院

上豊田さくら乳腺クリニック

診療科目 乳腺外科

Q1 開業のきっかけを教えてください

地域の方々が気軽に受診をしたり乳がん検診を受けたりできるような施設を作り、乳がんをより早期に見できるようにしたいと思いました。
また、術後の補助療法や治療の副作用チェック、その他様々な悩みの相談をクリニックで気軽にできるようにすることによってこの地域のがん治療をより良いものにしていきたいと考えました。

Q2 クリニックの特色を教えてください

乳がんは40歳から60歳の間が好発年齢です。女性にとって仕事や育児で忙しい時期ですが、皆様が受診できるよう土曜日、隔週日曜日も診療しています。お子様連れの方や男性も受診できます。専門的なリンパ浮腫治療、栄養指導外来を行っています。また、がん経験者様の支援のための様々な活動をしています。

Q3 先生はどのように地域と関わっていますか？

近隣検診施設の乳がん検診で「要精査」となった方々の精査を行い、よいものか悪いものかをしっかりと診断していきます。画像診断はその日に行って結果を説明いたします。
また、「乳がん地域連携バス」で近隣病院と連携をさせていただき、乳がん術後の補助療法や経過観察を、専門性をもって確実にしていきます。

Q4 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

わたくしは病院勤務時代、がん治療は地域ぐるみで取り組むことが必要であると強く感じました。地域医療連携により、病院でなかなか手が届かない日常生活に即したところをクリニックで補っていき、皆さまに「この地域に住んでいてよかった。」と思っていただけるような質の高いがん治療を届けていきたいと思っています。

Q5 豊田厚生病院へのメッセージをお願いします

豊田厚生病院はわたくしが初期研修と外科修練を行った病院であり、当クリニックの患者様を安心してご紹介させていただくことのできる病院であると感じております。これからも地域の方々に大きな安心を与える病院であっていただきたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



院長 大西 桜



住 所
豊田市上原町西山25番地1
電 話
(0565)46-0821

予 約：来院前のご確認をお勧めします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	◎	/
14:00~18:00	○	○	○	/	○	/	/	/

◎：第1・第3・第5日曜日は休診 /：休診

令和2年6月開院

浄水共立クリニック

診療科目 内科(人工透析)

Q1 開業のきっかけを教えてください

当グループは、豊田市内に豊田共立クリニックがありますが、患者様の高齢化により昼透析の需要が高くなり、昼透析のベッドが満床となりました。また、送迎需要も高く送迎範囲が広がっていました。そのため、市内に2施設目となる、浄水共立クリニックを昨年開院いたしました。

Q2 クリニックの特色を教えてください

私達のクリニックでは、職員間の連携を密に行い、個々の患者様に合わせたきめ細やかで質の高い医療を提供します。特にシャント管理には力を入れており、院内で経皮的血管形成術を実施しています(外科シャント手術の体制も準備中です)また快適な環境作り、災害対策(地下水の利用・自家発電装置)にも力を入れています。

Q3 先生はどのように地域と関わっていますか？

透析施設として透析医療はもちろんのこと、透析患者様の全身管理を行っています。
地域の基幹病院と連携を取り、合併症の治療を継続しております。
今後、地域の透析医療のレベルが向上するように、近隣施設と連携して取り組んでいきたいと考えています。

Q4 地域医療連携について先生が大切にしていることは何ですか？

地域全体としてより質の高い医療が提供できるように「地域医療連携」を大切にしています。
情報の共有と多職種連携、また医療ソーシャルワーカーの配置により、シームレスな医療を目指しています。

Q5 豊田厚生病院へのメッセージをお願いします

平素は、当院の患者様の診察を賜り、ありがとうございます。
貴院には、いつも丁寧な対応をして頂いていますので、私たち医療者も患者様も安心して日々の診療を行う事が出来ています。誠に感謝しております。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



院長 高 桂華



住 所
豊田市浄水町伊保原 300
電 話
(0565)47-0200

予 約：来院前のご確認をお勧めします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~17:00	○	○	○	○	○	○	/	○

/：休診

「青あざ」「茶あざ」のレーザー治療

打撲などにより皮膚が青紫色に変色する皮下出血は、いずれ消えることが多いものですが、「メラニン」と呼ばれる色素が原因でできた「青あざ」「茶あざ」は、消えずに残ることもあります。青、茶と色が異なるのは、メラニン色素を含んだ細胞が、皮膚の深くか表皮に近いところに発生しているかの違いで原因は同じです。

青あざ・茶あざは「レーザー治療」でメラニンを破壊するというもので、以下のものは保険適用で治療が受けられます。

◆太田母斑(おおたぼはん)

「太田母斑」とは、日本人の太田正雄氏が世界で初めて報告した青あざの一種で、生後すぐに現れるものと、思春期に現れるものの2種類があります。いずれも顔の片側に出ることが多く、特におでこから目のまわり、頬、上唇の周囲に青もしくは茶色がかったような点状で現われます。自然に消えることはありませんが、レーザー治療で効果が期待できます。

POINT

- 主に生後すぐか思春期以降に現れる
- おでこから目のまわり、頬、上唇の周囲に点状で現われる
- 自然に消えることはない
- 目の白目が青くなることもあるが、これは治療が困難

◆異所性蒙古斑(いしょせいもうこうはん)

生まれたての赤ちゃんのお尻の青あざにできる「蒙古斑」は、日本人を含むアジア人のほぼ100%にあり、通常、10歳ぐらいまでに自然と消えます。しかし、お尻以外にできる「異所性蒙古斑」は通常の蒙古斑と比べて残ることがあり、これもレーザー治療が効果的です。

POINT

- お尻以外のところにできる「青あざ」
- 自然に消える可能性は低い

「赤あざ(血管腫)」のレーザー治療

一般に「赤あざ」と呼ばれるものは、血管が拡張したり増殖する異常により、血液の赤い色素の元「ヘモグロビン」の影響で皮膚が赤くなります。

「赤あざ」の治療は種類に応じて異なりますが、当院では血管腫用のレーザー機器を新たに導入し、保険適用で赤あざのレーザー治療を開始しました。



血管腫用レーザー機器「Vbeam II」

◆単純性血管腫(平坦な赤あざ)

「単純性血管腫」とは生まれつきの平坦な赤あざで、大人になっても消えず、色が濃くなったり、成長とともに大きくなります。治療はレーザー治療が主流です。
ただし、顔の真ん中周辺にできる「サーモンパッチ」は消える傾向があるため、経過を見るという選択もあります。
また、顔にある大きな「単純性血管腫」の中には、目や脳に異常を来す病気の場合もあるので、赤ちゃんに赤あざがあった場合は、早めに形成外科医に相談してください。

POINT

- 表面が平坦な「赤あざ」で、出生時にはすでにある
- 成長に伴い大きくなり、色が濃くなることもある
- 自然に消えることは少ない
- 大きくなる前の治療開始が好ましい

◆乳児血管腫(いちご状血管腫)

生後しばらくして現れる赤あざで、皮膚から盛り上がり、いちごを切って貼り付けたような見た目から「いちご状血管腫」と呼ばれています。1歳ぐらいまで大きくなり続け、その後成長とともに小さくなります。治療をしなくても自然に消えますが、大きく盛り上がった皮膚がたるみやしわになるため、近年は大きくなるのを抑えるレーザー治療を施すことが増えています。

POINT

- 表面が盛り上がる「赤あざ」
- 生後するに現れ1歳頃まで大きくなり続ける
- 大きくなった後はゆっくり小さくなっていく

◆毛細血管拡張症(あがら顔)

通常、皮膚の表面からは見えない「毛細血管」が拡張し、皮膚から透けて赤く見えるようになる疾患に「毛細血管拡張症」があります。いわゆる「あがら顔」といわれ、飲酒時など一時的なものでなく、常に赤く見える状態です。これについても保険適用でのレーザー治療が可能です。